

大学名 電気通信大学

表題 URAが牽引する若手研究者の成長支援

電気通信大学は次代を担う研究者の育成を第4期中期目標の主軸の1つとしている。主たる専門分野の卓越性をベースに異なる他分野の研究者と協働し、イノベーション創出を牽引できる人材(本学では、このような人材を「研究インテグレータ」と呼んでいる)の輩出を目標として、博士号取得直後の若手研究者に安定した研究環境を提供する任期付助教制度をはじめとした、様々な若手研究者の成長支援策を打ち出している。このなかでURAは、若手研究者の成長支援を牽引する中核的な役割を担っており、制度面の充実にとどまらない、研究者に寄り添い顔の見える支援の企画運営に取り組んでいる。URAが主導した研究者成長支援事例として、民間補助金を原資とした若手研究者キャリア形成支援制度、異分野交流を支援する学内研究者交流の場について紹介する。

### <URAが主導している研究者成長支援>

#### ・UEC若手研究者キャリア支援制度

令和6年度創設。URAが財源調達から企画運営までを担い、研究費や在外研究支援の強化、異分野交流の場の提供、自己研鑽のための研修会実施等を実施している。特に博士号取得直後の若手研究者(任期付助教)の成長機会を提供することが狙い。

#### ・学内研究者交流の場 COMPASS

COMmunication Platform for Advanced Science & Sustainable society  
令和3年度創設。学内の多世代の研究者が集い、互いの研究を知り、異分野交流を深める場。URAが企画運営。研究者だけでなく職員も多く参加し、大学構成員全体の交流を図ることで、若手研究者の孤立を防ぐ狙いもある。

これらの成長支援策をはじめとして、本学では多様なバックグラウンドと経験をもつURAが積極的に若手研究者と交流し、外部資金獲得支援や産学官連携支援、社会実装支援など多面的な支援を実現している。

